

平成 18 年度に、「中皮腫・じん肺・アスベストセンター」に、「石綿・リスク相談調査票」を配布し、平成 18 年 12 月末に 443 件の調査票を回収した。相談のあった日時は、2003 年 9 月から 2006 年 12 月までとした。

調査票の依頼に際し「中皮腫・じん肺・アスベストセンター」には、「リスク・コミュニケーションが目的の調査であるため、1) ほぼ同一の相談内容と考えられる事例は、重複して調査票として収集しないよう極力努力して頂きたい。2) 個人情報保護の観点から、複雑な労災補償、法的な係争等を含む事例は極力調査票に収集しない旨お願いしたい。」という事で依頼した。

その依頼の範囲で収集された調査票であるため、「中皮腫・じん肺・アスベストセンター」の相談事例のすべてを対象とはしていないため、実際の相談数、相談者属性比率とは異なる。平成 19 年 1 月以降、443 件の調査票の内容をエクセルファイルに転記し、平成 18 年度中に**集計票 2006**が完成した。

3. 関連する文献の検索と収集

H18 年度に回収した「石綿・リスク相談調査票」には、「回答内容が不十分」と考えられる調査票も一部にあったため、第 1 回目の科学技術振興機構の J-DREAM II を用いた文献検索を平成 18 (2006) 年度末の平成 19 年 3 月に実施した。検索した結果、必要があると判明した文献は、平成 19 年 6 月からアスベストセンターに依頼し収集した。

「回答が不十分」と考えられる調査票の項目に関し、第 2 回目の科学技術振興機構の J-DREAM II を用いた文献検索を 2007 年 11 月に分担研究者名取雄司が実施し、検索した結果、必要があると判明した文献の収集を平成 19 (2007) 年 11 月～同年 12 月 28 日まで、アスベストセンターに依頼し収集した。

4. 「石綿関連 質問・リスク Q&A 2007(案)」の作成

平成 19 (2007) 年度に、「**集計票 2006**」を元として、以下の作業を行った。

(1) 集計票の分析 質問者の属性

「**集計票 2006**」を元とし、平成 19 (2007) 年度に質問者の属性を分析した。

(2) 集計票の分析 質問・回答から分野の設定

「**集計票 2006**」を元とし、相談内容を分類し、リスクに関するコミュニケーションの基礎的整備の観点から、平成 19 (2007) 年度に質問と回答項目から相談分

野を設定した。

(3)「石綿関連 質問・リスク Q&A 2007(案)」の作成

「集計票 2006」の回答で、分担研究者の名取が、「質問に十分答えている」と考えた事例は 434 件中 343 件であり、質問内容等が難しい事例も多く 434 件中 91 件では十分な回答にいたっておらず、リスク・コミュニケーション上で問題が生じ対応が必要と考えられた。

平成 19 (2007) 年度に、充実した回答内容の作成作業の一部はその分野に詳しいアズベストセンター関係者等に依頼し、その他の作業は分担研究者の名取が担当した。2003 年から 2006 年 12 月まで国民から寄せられた相談のかなりの内容が網羅されたものと考えられるため、石綿に関するリスク・コミュニケーションの基礎的な内容で、「石綿関連 質問・リスク Q&A 2007(案)」とした。

5. 回答に関する根拠論文等

リスク・コミュニケーションの基本には、正確な情報と事実の収集に基づく判断が必要である。石綿の場合には製品や産業が多岐に及ぶため、基礎的な情報の収集が十分実施されていない場合も多い。平成 18 年度の集計表で、「回答の根拠となる書籍・論文・HP を示している。」回答は 434 件中 5 件と極めて少ない結果だった。

回答の根拠となる書籍・論文・HP を収集分析しては、「石綿関連 質問・リスク Q&A2007(案)」に追加しており、平成 20 (2008) 年 2 月現在作業が継続されている。

図1

石綿・リスク 相談調査票

相談票番号

1. 相談日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

2. 相談表番号 _____

3. 相談者年代 _____ 4. 相談者性別 _____ 5. 相談者地域 _____

6. 相談趣旨①健康 ②労災 ③アスベスト ④建材 ⑤環境 ⑥その他

(別紙資料を添付・記載の通り)

7. 相談の対象

8. 製品 相談場所等

9. 相談の詳細内容

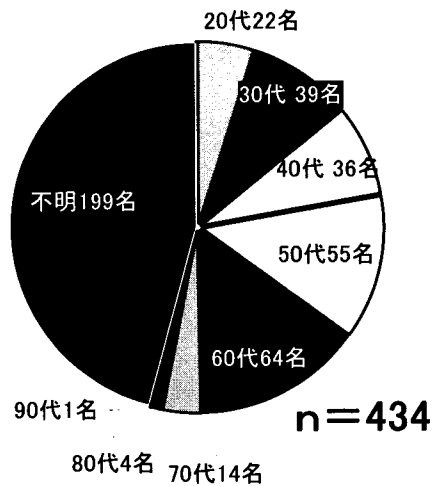
10. 相談者の回答内容

5-3. 研究結果

(1) 質問者の属性

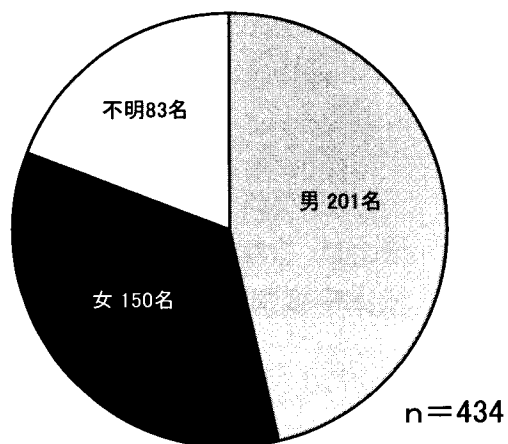
2006 年度に作成した集計票を元に、2007 年度に質問者の属性を分析した。質問者の年代、性別、質問者の居住する地域の結果を図2～図4に示した。

図2 年代



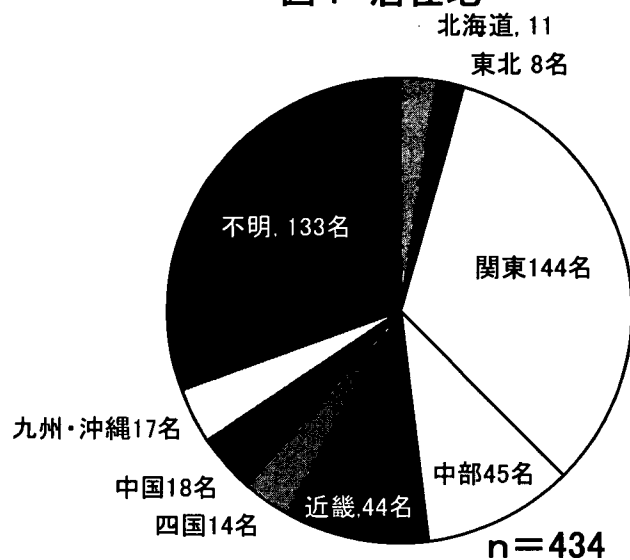
質問者は、20代 22名、30代 39名、40代 36名、50代 55名、60代 64名、70代 14名、80代 4名、90代 1名、不明 199名であった。

図3 性別



質問者は、男性 201名、女性 150名、不明 83名であった。

図4 居住地



質問者の居住地は、北海道 1 名、東北 8 名、関東 144 名、中部 45 名、近畿 44 名、四国 14 名、中国 18 名、九州・沖縄 17 名、不明 133 名であった。

(2) 質問・回答から分野の設定

「集計票 2006」から、質問と回答内容を検討した。分野の設定は、今後リスクコミュニケーションの立場で質問者に誠意をもち十分答えようとする回答者の視点から分析した。質問者の観点からの分類ではないので、質問者指向の Q&A ではない限界がある事には留意されたい。

分野には、大きく分類すると、**A 環境曝露**として①環境、**B 建材**として②～⑦、**C その他の石綿**として⑧～⑪、**D 家族曝露**は⑫、**E 低濃度リスク** ⑬は様々な原因による低濃度のリスク、**F 職業曝露関連**⑭～⑯は職業性曝露、**G 医療関連**⑰～⑳に分類した。

- A 環境曝露 ①環境
- B 建材 ②建材確認 ③建材対応 ④建材 ⑤吹き付け石綿
⑥学校での飛散 ⑦賃貸住宅
- C その他の石綿 ⑧石綿製品 ⑨その他 ⑩地震 ⑪廃棄
- D 家族曝露 ⑫家族曝露
- E 低濃度リスク ⑬低濃度リスク
- F 職業曝露関連 ⑭アルバイト ⑮産業・職種相談 ⑯労災補償等
- G 医療関連 ⑰石綿関連疾患 ⑱中皮腫 ⑲健診 ⑳医療相談

石綿工場、大気、水道、等の環境からの石綿曝露については、環境に分類し、建築やその他の石綿製品や廃棄過程、地震からの曝露とは分離した。

建材の相談は多いが、飛散性もリスクも高い「吹き付け石綿」関連の相談は「⑤吹き付け石綿」への分類を優先した。同様に学校の吹きつけ石綿飛散は、リスク・コミュニケーション上対応が異なる場合が多いので、「⑥学校での飛散」に分類した。同様に賃貸建築での石綿問題は、リスク・コミュニケーション上の対応が異なる場合が多いので、「⑦賃貸住宅」に分類した。

その他の建材相談では「石綿含有建材の確認」が多く「②建材確認」に分類、石綿含有建材にどう対処すべきか「③建材対応」と分類し、②建材確認と③建材対応に含まれない建材の相談を、「④建材」に分類した。

建材以外の石綿製品に関する相談は「⑧石綿製品」に分類し、地震に伴う石綿曝露や対策等の相談は「⑩地震」に分類し、アスベスト廃棄物に関する相談は、「⑪廃棄」として分類し、最後にどの分野にも区分しにくい相談を「⑨その他」に分類した。

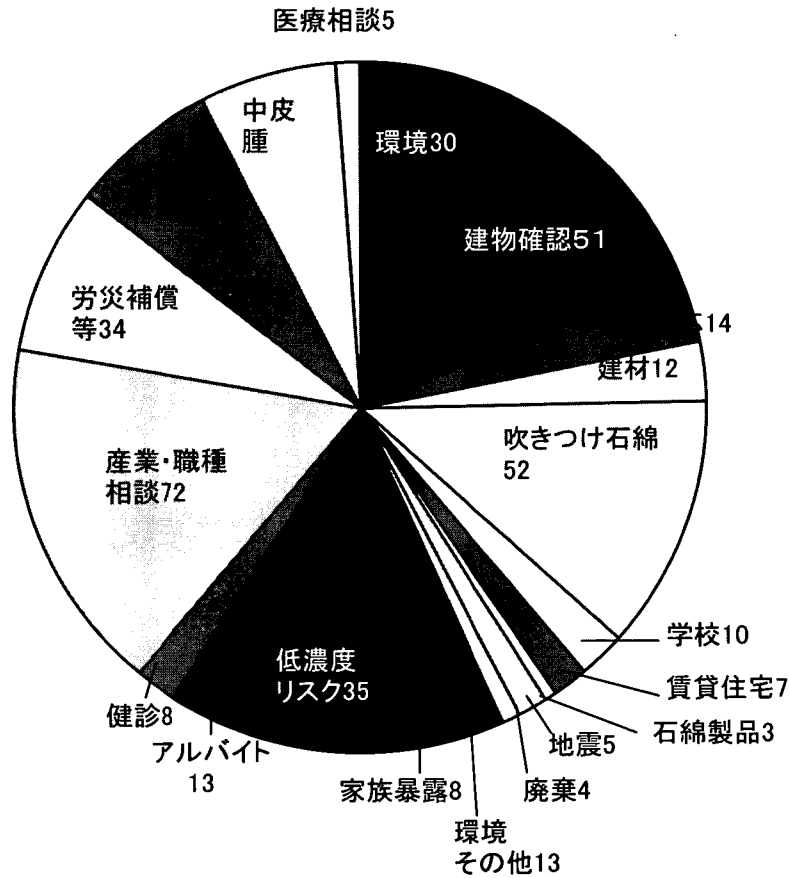
家族曝露は⑫家族曝露に、様々な原因による低濃度のリスクは⑬低濃度リスクに分類した。

職業性曝露の相談では、まず「アルバイト」に関するリスクや今後の対応は「⑭アルバイト」に優先して分類することとし、相談者の関心及び回答に際して同一の産業・職種の情報の確認等を要するものは「⑮産業・職種相談」に分類し、労災補償等の救済・補償制度が主な相談である場合は、「⑯労災補償等」に分類した。

医療関連相談は、中皮腫に関する相談は独立させ「⑱中皮腫」と分類し、次に「肺がん」「石綿肺」「胸膜肥厚斑」「良性石綿胸水」「び慢性胸膜肥厚」「その他の疾患と石綿の関連」をまとめて「⑰石綿関連疾患」に分類、過去の曝露により石綿関連健診をどうすれば良いのかの相談は「⑲健診」に分類、それ以外の医療関連相談を「⑳医療相談」と分類した。

分野の結果は、図5に示す。

図5 アスベスト相談分野分類



①環境は 30 例、②建材は 77 例②建材確認は 51 例、③建材対応は 14 例、④建材は 12 例⑤吹き付け石綿は 52 例、⑥学校での飛散は 10 例、⑦賃貸住宅は 7 例、⑧石綿製品は 3 例、⑨その他は 13 例、⑩地震は 5 例、⑪廃棄は 4 例であった。

⑫家族曝露は 8 例、⑬低濃度リスクは 35 例であった。

職業曝露関連は全体で 119 例、⑭アルバイトは 13 例、⑮産業・職種相談は 72 例、⑯労災補償等は 34 例であった。

医療関連は全体で 71 例、⑰石綿関連疾患は 30 例、⑱中皮腫は 28 例、⑲健診は 8 例、⑳医療相談は 5 例であった。

質問には、重複した数分野が含まれている事も多いのが実情である。「石綿かわからない建材を吸入したが、今後どのくらい心配で、健診はどうすればよく、発症したらどうすれば良いのか？」という様なケースであるが、この場合「建材確認」を実施していただき、石綿非含有であれば、「今後どのくらい心配で、健診はどうすればよく、発症したらどうすれば良いのか？」の回答は不要となるので「建材確認」に分類し、質問と回答の中心的な分野の一つに限定した。もちろん現実の相談と回答では複雑に重複するのが当然で、Q&Aの作成という観点からの省略であるので、現実の際には複合した対応が必要である。

(3)「石綿関連 質問・リスク Q&A 2007(案)」の作成

「集計票 2006」、は質問や回答が具体的であり、相談者の個人情報が含まれ、また相談者が特定される可能性があった。内容自体が極めて特異的で、個人が特定される質問も多くあった。

相談者は相談の存在自体を守秘する事が前提で相談されている訳で、質問を回答の大きな骨格を残しながら、年齢、性別、居住地域、会社名、団体名、詳しい職種等については、相談者の個人情報保護の観点から省略する必要があった。

2007年度には、「集計票 2006」から回答内容を充実させつつ、個人情報保護の観点で、質問と回答を大幅に省略と変更を行い、「石綿関連 質問・リスク Q&A2007(案)」を完成させた。その結果を表1に示す。

5-4. 考察

アスベストの相談は、年代では10台以下が認められなかったが、20代から80代まで広く分布していた。性別も男女ほぼ同数であり、アスベストは年代や性別によらず、広い問題として認識されている事が判明した。居住地は「中皮腫・じん肺・アスベストセンター」の所在地である関東が多い傾向はあるものの、広く全国に及んでおり、全国的な課題と考えられた。

分野ではリスクの高さを反映し、「吹き付け石綿」「様々な産業・職種」「労災補償」「中皮腫」という相談が多い一方で、身近なアスベストの問題である「建材の確認」もかなりの比率を占めた。身近の相談機関では容易に回答が得られにくい「低濃度リスク」「環境」等の相談が次いで見られ、「賃貸」「地震」「廃棄」等広範な相談領域が有ることが、確認された。

「石綿関連 質問・リスク Q&A2007(案)」には、434 ケースが記載され、一つ一つが貴重な事例であり、石綿関連の質問やリスクに関する質問が網羅されている内容と考えられた。平成19年度の結果を充実発展させれば、石綿に関するリスク・コミュニケーションの基礎的なツールとなる「石綿関連 質問・リスク Q&A」が完成すると考えられた。

平成20(2008)年度に残された課題は2点あり、リスク・コミュニケーションの基本の正確な情報と事実の収集に基づく判断のために回答の根拠となる書籍・論文・HPを「石綿関連 質問・リスク Q&A2007(案)」に追加する事が第1である。

第2として、石綿に詳しい各分野の複数の研究者・実務に詳しい関係者による検討の研究会を複数回開催し、平成20年度に「石綿関連 質問・リスク Q&A2007(案)」を加筆修正補正し、検索しやすい目次や索引を追加、石綿に関するリスク・コミュニケーションの基礎的なツールとなる「石綿関連 質問・リスク Q&A 2008」として完成させる。平成19年度までに既に収集分析し、平成20年度に石綿濃度に関する論文を収集し「石綿関連 質問・リスク Q&A 2008」を充実させる予定である。

相談番号	相談内容	回答	参考文献・参照HP
33	環境 家から200mのところ、石綿製品製造会社の工場があります。昔から夜になると工場から臭いがしてきて困ります。	臭いは自治体の環境対策課にまず相談してください。アスベストに関しては、必要でしたら当方で測定機関を紹介いたします。環境曝露もありうるので、今後ご相談ください。	
50	環境 石綿工場の近くに住んでいて、胸膜肥厚斑だけでなく、石綿肺疑いと言われています。私の生まれた家は、石綿工場の窓や換気扇から10分の所にあります。生まれた時から20年ちかくはその環境にいたと思いますが、石綿肺になる環境でしょうか？	工業地帯の大きい工場では住宅地から数百m以上離れている場合が多いのですが、町工場の場合住居と工場は数mで、石綿工場は住宅と大変近い地域が多かった事が確かにあります。石綿工場の窓や換気扇から数mの住居をこの間何度か見ました。この場合石綿濃度が、数繊維/mlになることが十分想定され環境の石綿肺が出現すると思います。十分検査を受けられ環境石綿肺である事を確認した方が良いでしょう。詳しい医療機関をご紹介します。	
66	環境 0才～18才まで、100mくらい近くに石綿工場がありました。兄弟にも咳が出ていました。今は引越しています。環境での飛散もあと聞きましたか？	工場から近いので、石綿による中皮腫や胸膜肥厚斑等の可能性がありうろと思えます。一度アスベスト疾患に詳しい医療機関で、レントゲン写真やCT写真でチェックされてはいかがでしょうか？	森永謙二.アスベスト曝露と中皮腫発症.徳原出版新社;東京:2007:9-16
88	環境 車の部品出荷作業所があり、箱に触れるとチクチクします。従業員は石綿をマフラー状部品に使用していると噂しています。不安なので会社に問い合わせさせていただきます。	会社にお問い合わせの後、使用が判明したら再度ご連絡ください。健康診断等が必要であれば、ご紹介いたします。	
90	環境 ホテルに長期滞在中に、ボイラー室より流れてくる風をよく浴びました。ボイラー室には吹き付け石綿があり、粉じんが無いホテルはアスベストを認知してました。将来発症の可能性があるのででしょうか？	自治体に連絡し、アスベストが飛散しているか調査してもらえませんか一つです。ホテルは吹き付けアスベストの存在は認めているのでしょうか？ 発ガン物質が飛ぶような状況にしておいた宿泊者への安全管理が問題です。確認後再度ご相談ください。	
105	環境 今年、新築の住宅の2階に住んでいるのですが、真下の1階は集会所でその天井には「石綿吸音版」とあります。2階に寝みこんでこないか心配です。	アスベストは水のように浸みて階上にかかることはありませんので、心配ないと思わせます。	
131	環境 学校や施設の改修は近隣にはどれくらい危険でしょうか？	学校や施設の改修工事の際、アスベスト対策が義務付けられています。きちんと対策が行われていれば心配ありませんが、対策が不十分な場合、周辺のアスベスト濃度は一般環境の数百倍から数千倍になることも知られています。事前の工事説明会などで、アスベスト対策が十分にされているか確認することが重要です。	
154	環境 50～70m先で鉄筋コンクリートを解体していて、アスベストの飛散が不安です。	工事現場に行ってみて看板を見て業者に、石綿の有無を問い合わせをしてみてください。説明に納得がいかない部分があれば、自治体の大気部署か監督署に電話してください。それでも納得のいかない部分や、解決しない問題がある時はアスベストに詳しい団体にご連絡ください。	
168	環境 アスベストの入っている水道水を飲むことが多いと、腹膜中皮腫になりやすいのでしょうか？	御質問と同様の懸念があり、水道水のアスベスト繊維の多い地域と少ない地域で、中皮腫の発症に差があるのかを調べた疫学調査が北米で実施されました。その結果からすると、水道水のアスベスト繊維の多寡では、腹膜等中皮腫の発症に差は認められませんでした。一方アメリカのNRC報告書は、「これまでの疫学調査では、飲料水の石綿繊維とヒトの消化管ガンとの相関がどの程度かを定めることはできない。」としています。	環境庁大気保全局企画課監修、石綿・ゼオライトのすべで飲料水中の石綿による影響、日本環境衛生センター；東京：1987：359-368
170	環境 石綿繊維は現在大気中に、どの位検出されているのでしょうか？	日本の都市では2004年現在で0.1-0.3f/Lの大気中石綿(アスベスト)濃度の環境が多いと思えます。残念ながら私たちは毎日息を吸う中で、石綿(アスベスト)をさほど危険と思わずに吸入してきています。成人は1分間に5Lの大気を吸入するので、1年に吸入する石綿本数=0.1-0.3本/L-5L/分-60分-24時間-365日=525,600-788,400本となり、1日に720-2160本、1年で25万本から約180万本の石綿(アスベスト)繊維を日本人は吸入しているわけでは、	中皮腫・じん肺・アスベストセンター—HP http://www.asbestos-center.jp/asbestos/qanda.html

相談番号	相談区分	相談内容	回答
176	環境	石綿工場周囲の石綿濃度は、どの位とされているのでしょうか？私は、工場から100m位の所に20年位住んでいたのですが、心配です。	法律（大気汚染防止法施行規則第16条の2）では、石綿製品製造工場の敷地境界の濃度10f/Lと定められています。しかし、この基準は、人の健康に与える安全基準ではありません。石綿製品製造工場周囲の asbestos 被曝とすることで言えば、クボタ・シヨックとして大きな問題になった尾崎のクボタの旧神崎工場周辺1、5km以内に中皮腫や肺がんなどの深刻な被害が広がっています。しかし、すべての石綿製品製造工場周辺で同じような被害があるわけではありません。横浜市鶴見区にあった旧朝日石綿横浜工場周辺では、100m以内に中皮腫や肺がんというよりも健康診断を受けて胸膜肥厚症と診断された方が多いです。いずれの石綿工場でも工場で働いた従業員に asbestos 被曝が多発しています。ですから、先ずあなたの近くの石綿工場で従業員に asbestos 被曝がどうかを調べてみる必要があると思います。あなたご自身の健康が心配なら asbestos 疾患の専門医がいる医療機関で石綿健診を受けることをお勧めします。
177	環境	幹線道路周囲での石綿濃度が高いと聞きます。どのくらいの濃度で、幹線道路近くに長年住んでいると、石綿関連疾患になりやすいのでしょうか？	1985年の「Asbestos 排出抑制マニュアル」によると、自動車通行の多い幹線道路で最大367f/ml、平均約100f/ml程度の著しい高値を示しています。繊維の多くはクリソ対イールとされています。職業でクリソ対イール150f/mlの環境で1日8時間、15才から50年間過ごすとして1000人に1人の中皮腫と肺がん死亡のリスクとされている車を対比させて考えると、幹線道路は石綿関連疾患になりやすい環境と言えます。幹線道路からの距離での濃度の検討、実際の胸膜肥厚症や中皮腫の発症等、今後の実証的検討が待たれます。
178	環境	廃棄物処分場近くに住んでいます。石綿建材がかなり持ちこまれており、石綿濃度の上昇が心配です。今後何をすれば良いのでしょうか？	Asbestos 建材が不適切に処分場に持ち込まれることの徹底的な監視と、問題な処分場業者への監督を自治体に要請しましょう。また処分場周囲の asbestos 粉じん濃度の継続的な測定を行政に行わせる運動を起こすべきでしょう。粉じん濃度が一般環境濃度よりも高いことが判明すれば、自治体による指導や処分場業者の責任の問題などを、リスクコミュニケーションを形成する中で確認することが大事です。
193	環境	近所のビルが解体中で、Asbestos が不安です。どのように確認したらよいでしょうか？	Asbestos 含有建材のある工事できちんと届け出があるならば、自治体か所轄労働基準局が工事を把握しているはずで、電話してまず確認してみてください。もし肉眼的に吹き付け石綿等があり、届け出のない工事の可能性が高い場合は監督と連絡して指導を要請する必要があります。問題がある場合はご相談ください。
201	環境	石管ボードのリサイクル工場の近くに住んでいます。工場のシャッターは開いており、車の出入りの際、粉じんがひどいです。A県は「Asbestos はない」とコメントしていますが調査も曖昧です。	石管ボードにはS60年の一時期のみ asbestos が入っていましたが、それ以外の時期であれば安心してください。石管ボードの資料を送付します。環境団体と共に、自治体と交渉、住民による監査請求、労働者への調査依頼が必要になるかもしれません。
203	環境	環境での石綿肺には、なりうるのでしょうか？	日本では石綿工場から極端に近い所に民家があるため、高濃度曝露となるから、石綿肺も生じてしまうのです。
205	環境	大気汚染防止法の10f/L以下なので心配ないと言う自治体関係者が時々います。これは正しいのでしょうか？	正しではありません。10f/L以下でも、石綿関連疾患の発症のリスクはあります。詳しくは国土交通省委員会報告書をご覧ください。

参考文献・参照HP

環境省 asbestos 発生源対策検討会、Asbestos 排出抑制マニュアル；東京、ぎょうせい；1985；
環境庁大気保全局企画課監修、石綿・セオライトのすべて；日本環境衛生センター；東京；1987；64-82

<http://www.asbestos-center.jp/asbestos/ATT00046.pdf>

相談番号	相談内容	回答	参考文献・参照HP
250 環境	石綿セメント管を使うなどして、上水道にアスベストが含まれている場合飲料水としては問題ないということですが、水で洗濯などをした時水だけ乾燥した後衣類などに残って周りに撒き散らすことになっているのでないか心配しています。リットルに何十万本もの石綿繊維があるなどの記載があり、乾燥した後の飛散について検証・考察した様子がなく不安です。何十万単位で飛散すると恐ろしいことになってはいませんかという考えが出てしまいます。	ニューヨーグ市ウットストックでは石綿セメントパイプ由来の石綿が高い地区とされ、クリンタイルが0.7～1700万本/L、クロシドライト等角閃石系石綿が0.29～148万本/L(0.04地区あり)の結果となっています1)。水の中の石綿が高濃度になる由来としては、土壌の石綿から湖や川への流入、アスベスト水道管からの剥離等による濃度の上昇が疑われています。水のアスベスト自体は飲食では問題ないとされています。水道水中の石綿が17～31.0万本/L(クリンタイル)16.0～29.3万本/L、角閃石系1.6～1.7万本/L)の家の、空気中の石綿濃度は0.073～0.19f/cm ³ 、0.15～2.6万本/L(クリンタイル)0.14～2.47万本/L、角閃石系0.0～0.15万本/L)の家の空気中の石綿濃度は、0.028～0.046f/cm ³ でした。建材等の石綿飛散元は想定しにくい家で、水道水の石綿が家屋内に飛散したものと考えられました2)。常時この濃度とすると健康障害が生じる濃度なので、気になる結果です。現在日本の大気には、0.1～0.3本/Lの石綿繊維があり、水道の水は乾燥して大気に飛散し一時的に室内の石綿が高まりますが、拡散した大気濃度に近づくと推定されます。同様に大気中の石綿が衣類についたり飛散した時も絶えず起きている事と推定します。吹き付け石綿は洗濯でほとんど衣服に残らない事が報告されています3)。こうした大気、生活、水間の研究が少くないのが一つは問題です。	1)Weber JS et al., Asbestos in drinking water supplied through grossly deteriorated A-C pipe.J Am Water Works Assoc 81(2):80-85,1989 2)Weber JS et al., Asbestos-contaminated drinking water:its impact on household air Environ Res 46(2):153-167,1988 3)Robert N Sawyer et al Asbestos Exposure in a Yale Building Analysis and Resolution , Environmental Research : Vol13 P146-169,1977
252 環境	自宅横に隣接した1メートルもない距離の、木造でかなり古い2階建ての住宅が解体され、新築一戸建てが2棟建ちました。文化住宅の解体時にアスベストが飛散して、洗濯物に付着したり戸内へ入って来ていないか教えてください。新築一戸建ての建築時には網ネットのようなものを張っていましたが自宅ペランダや脇の駐車場に止めてある車に目視してはまきりわかる量の木屑等が飛散して付着しています。この時期の新築一戸建ての建築時にアスベストが飛散するような事はあるのでしょうか？小さい子供と私の今後の危険はどのくらいでしょうか？	古い木造住宅であってもスレート板などは1910年代から石綿を含有している製品があり、石綿含有建材を使用していた可能性はあります。このような建材を解体するために破砕しながら除去すると、作業場の空気中の石綿濃度は1リットル当たり数千本程度になることがあります。発生した石綿は空気の流れにより運ばれるので周辺では洗濯物に付着したり、戸内に入ることがあります。新築については、2004年10月まで石綿含有建材が製造されており、その後も流通していた可能性があるので、それまでに建てられた建物には石綿含有建材が使用されていた可能性ががあります。新築でも解体含有建材を切断研磨した場合同様に石綿が飛散している可能性ががあります。作業でも石綿含有建材を切断する場合はそれにより石綿の粉じんが飛散して、作業している人だけでなく周辺の居住者が曝露(石綿粉じんを吸い込んでしまうこと)してしまふ可能性ががあります。危険の程度については解体された建物と新築された建物の含有建材の使用の有無と程度が不明の場合ははっきり示すことはできませんが、一回限りの曝露が原因で病気になる可能性はほとんどなく、曝露が繰り返されることにより少しずつ病気になるリスクが増加してゆくと考えられます。	
253 環境	自動車で雪道を走行するタイヤとして、スタッドレスタイヤがあります。最近タイヤゴムの表面に小さな針のような無数のガラスを埋め込んで、氷上でのグリップを高めたいタイヤ製品が出てきました。しかし針のようなガラスは、タイヤが磨耗されるにしたがって、露出、毀損、切断され、空中に飛散するのではないのでしょうか。その破片は空中に舞い上がり吸引すると、アスベストと同じように健康に害があるのではないかと思いますがいかがですか？	ガラス繊維を扱う職業の方には以前からじん肺という病気が知られています。これは粉じんが肺の中に積もり引き起こしてしまうものです。また職業曝露では肺がんの可能性もありです。アスベストのみならず、いわゆるほこりは吸ってよい物はありません。但し環境での低濃度曝露では、濃度が低いのでじん肺や肺がんにはまずまずならず、またガラスで中皮腫や胸膜肥厚病にはならないと考えられています。	
255 環境	施設アスベストについて質問します。数年間通っていた公共施設のスポーツジムの最近アスベストが使用されていたということによって改築のため閉鎖されました。私は週に2回程度2時間ぐらい通っていました。一応「健康被害はありません」みたいなことが立て看板に書かれています。アスベストが使用されている施設利用の健康被害というものはどの程度なのでしょうか？	アスベストが使用されている施設利用者の健康被害については、今のところ発症したという報告は確認されていません。しかし、アスベスト粉じん濃度と滞在時間との相関関係でアスベストリスクは発生します。施設の利用時のアスベスト粉じん濃度を測定し、利用者に情報を公開することは重要で、疾病は長い潜伏期間後現れるので、自覚症状等が無い場合、今後の定期健康診断などのおりに問診の際、医師にお話しする程度でよいと思います。	

相談番号 258	相談内容 水道水にアスベストが含まれているそうですが、日本の水道水の濃度を教えてください。水道水の高い地域の水を食事や入浴で使うと、家の中の濃度はどうなるのでしょうか？その水道水を使った加湿器(特に超音波式)が危険という論文を目にしました。自分は音がなりの期間超音波式加湿器を水道水で使っていました。やはり超音波式加湿器は危険なのでしょうか？	回答 東京都の1989年の高嶺や多摩地域の水道用原水の石綿繊維は、定量限界(7,500本/L以下)の原水が小笠原、新島、利島で見られたが、大島3万本/L、三宅島75,000本/L、奥多摩町や松原町で112,500~120,000本/Lでした。繊維サイズは長さ0.2~1.0μm、1.0~5.0μmがほとんどで、5.0μm以上は検出されず、繊維はクリソタイル(1)の形状のクロソライト石綿水道管使用地域の石綿繊維は2.7万~27万本/Lで、繊維のほとんどがクロソライトでした。一方水源は同じくすべて塩ビ管地域の石綿繊維は、検出されませんが長さ0.2~1.0μm未満、1.0~10.0μm未満の石綿繊維は除去されませんが長さ0.1~0.1μmの中空糸膜を使用した浄水器では長さ10μm以上、長さ0.2~1.0μm未満、1.0~10.0μm未満の石綿繊維のすべてが除去され、石綿繊維は検出されませんでした(3)。水道水中の石綿濃度が高い家と空気中の石綿濃度はどうなるのでしょうか？水道水中の石綿が17~31.0万本/L(クリソタイル)16.0~29.3万本/L、角閃石系1.6~1.7万本/L)の家の、空気中の石綿濃度は0.073~0.19f/cm ³ 、0.15~2.6万本/L(クリソタイル)0.14~2.47万本/L、角閃石系0.0~0.15万本/L)の家の空気中の石綿濃度は、0.028~0.046f/cm ³ でした。建材等の石綿飛散元は想定しにくい家で、水道水の石綿が家屋内に飛散したものと考えられました。加湿器の水道水の石綿濃度に対応して超音波加湿器からの大気中石綿濃度が高くなると報告されています。0.001BAS/Lで0.003structures/cm ³ 、0.01BAS/Lで0.029structures/cm ³ 、0.0875BAS/Lで0.25structures/cm ³ 、1.8BAS/Lで5structures/cm ³ 、10BAS/Lで29structures/cm ³ 、140BAS/Lで406structures/cm ³ でした。確かに加湿器の石綿は部屋の空気の濃度を高くなりますが、すぐ大気等に拡散し濃度は低くなります。著しく高濃度の石綿が含まれた水の超音波加湿器使用は問題ですが、日本の水道百万~1000万本/L(0.01~0.1BAS/L)ならばリスクは少ないように思われる結果です。地域の水道とそのパイプの劣化の確率の問題でしよう。	参考文献・参照HP 1)小輪瀬池他、水中のアスベスト繊維に関する調査研究(第2報)、東京衛研年報、39,259-263,1988 2)青橋勝美、アスベストセメント管に由来する水道水中のアスベスト繊維濃度とその形態、日本衛生学雑誌、47、851-860、1992 3)小輪瀬池他、家庭用浄水器によるアスベスト繊維の除去試験、東京衛研年報、39,259-263,1988 4)Weber JS et al. Asbestos-contaminated drinking water: its impact on household air Environ Res 46(2)153-167,1988 5)Hardy RJ. Indoor Asbestos Concentration Associated with the Use of Asbestos-Contaminated Tap Water in Portable Home Humidifiers. Environ Sci Technol,26(4)、680-689,1992
384	生まれから数年間住んでいた家となり、石綿ゴム製造工場がありました。下町で家や工場も密集し以前隣はアスベストを使っていたとの類の言葉を思い出しました。工場はさびが以前から操業し、近所、従業員、事務員、社長など、誰も肺の病気になることなく、これまでみなさん健康なようです。	アスベストは直接使用した人でなくとも、周囲の人に低濃度で中皮腫や胸膜肥厚斑が生じる物質です。直接ご使用された人がたまたま、じん肺等にならずも、周囲の方に中皮腫が生じた例は数多くあります。御心配の方はアスベストに詳しい病院を受診して、石綿関連疾患をチェックして下さい。	
406	子供の通学路で解体が行われ、学校の崩りに解体現場の近く(100メートル程離れた場所)で30分ほど遊んで帰ってきたとの事でした。解体現場を見に行ったところ、簡単な網に覆われているだけで、アスベストが使われていたから怖いと思われ、簡単な状況でした。問い合わせて、吹きつけアスベストは無いが、建材等に含まれているかは分からないとの回答でしたが、…解体業者がきちんとして対応のものと、解体していることと信じていたのですが、中には、いい加減にしてしまふ業者があるという事を、悲しい事に耳にしてしまふので不安に思っています。もしもかたりに、いい加減な業者がなんの対応もないままアスベスト建材を解体していた場合30分ほど、周囲で遊んでいただけで、今後の健康状態に影響がでるようなことになってしまふのでしょうか？教えてください。不安で心配で、いってもいいかもしれませんが。	1) アスベストの低濃度リスクに関しては、 http://www.asbestos-center.jp/asbestos/qanda.html をまずご覧いただければ幸いです。 2) その上でご心配な場合は、再度ご連絡下さい。	http://www.asbestos-center.jp/asbestos/qanda.html

相談番号	相談内容	回答	参考文献・参照HP
407	水道水の中にも、アスベストが含まれていて、1あたり数百本と聞きました。空気と比べて高濃度のように思ったのですが、かなり高いのでしょうか？アメリカやカナダの結果と聞きましたが、実際のデータを教えてください。川や水道水の石綿濃度が高くなるのは、どういう理由なのでしょう？	光学顕微鏡は400倍で石綿繊維が直径0.37μm以下で長さ5μm以上の太く長い石綿繊維を測定しますが、電子顕微鏡は直径0.02μm以上で長さ0.1μm等の細く短い石綿繊維も測定できます。1) 空気中の石綿は光学顕微鏡が現在も主流ですが、1970年から問題となり1980年代精力の測定が実施された水道水中の石綿濃度は、透過型電子顕微鏡(TEM)で測定される石綿繊維を除外できる定性分析が可能で方法であることが考えられます。水中の石綿繊維のデータですが、アメリカのEPAは1981年に100事業体の水道水中の石綿繊維を調査し12事業体から石綿繊維が検出され、38.5万本/171万本/Lとしています。EPAはTEMで47州の406都市の水道水を測定し、117都市は定量下限以下、103都市は50万本/L未満、113都市は60万本/L以上～100万本/L未満、33都市が100万本以上～千本/L、40都市が1千本/L以上で長さ0.5～2μmで直径は0.04～0.1μmのものも多く、長さが5μm以上の石綿繊維は測定1510繊維中49本で、クリソタイルの検出が多い結果を報告しています。CunninghamHMは1971年カナダの水道水で、2日万本～1億7200万本/Lの石綿繊維を報告しています。4) 水の石綿はTEMで数万本/L～数千万本/Lの結果ですが、光学顕微鏡で測定すれば長さがある繊維は少ない結果となります。それにしても、空気中の石綿濃度と比べ多い結果で驚かれたと思います。空気と水と土壌の循環に応じ石綿繊維の循環があり、土壌や水の占めるウェイトが高いのではないかと考えられますが、詳しい研究が必要なのでしょう。	1) 環境庁大気保全企画課監修 石綿・セオライトのすべて、日本環境衛生センター；東京；1987；64-82 2) US Federal Register, 50, No219,46961-46963. 1985 3) James R. et al Concentration and Size of Asbestos in Water Supplies, Environmental Health Perspective, Vol34, 13-25, 1980 4) CunninghamHM et al. Asbestos Fibers in beverages and drinking water, Nature, 232, 332-333, 1971
415	環境 吹きつけ石綿(アスベスト)の除去工事が近所で2日ありましたが、ずさん工事との噂があります。20mほど離れた外の場所でも子供が数分アスベストを吸入した可能性がありますが、咳をしていますしレントゲン写真を撮影した方が良いでしょう？	石綿関連疾患は吸入して少なくとも10年以内に生じる事は皆無とされています。今の時期のレントゲン撮影は意味がない上に、お子様に放射線による健康リスクを不必要に与えてしまうのではおやめください。咳が出てくることと、別の原因が考えられますので医師にご相談ください。20mほど離れたずさんな工事ということですが、環境中にアスベスト粉じんが排出された可能性は確かにあります。しかし2日間ということと、建物内ではないので石綿濃度は一般的に低くなり大気に拡散します。健康に影響があるほどのばくろとは考えなくてもよいでしょう。	http://www.iaish.ac.jp/information/mhlw/sekimen/h18_tebiki.html Consensus Report. Asbestos, Asbestosis, and Cancer. the Helsinki Criteria for diagnosis and attribution. Scand J Work Environ Health 1997; 23: p311-316
419	環境 私は胸膈中皮腫で治療中です。以前の勤務は事務職でしたし、アスベスト工場も近くにあった記憶がありません。大気のアスベストを吸入した「環境」中皮腫と考えると良いのでしょうか？	中皮腫の原因の80%が職業での石綿曝露といわれています。事務職でも曝露のある産業もありますので、厚生労働省の「石綿ばく露把握のための手引き」をまず参照してください。次にお勤めしていたビル等の石綿曝露もありません。家族歴やお気づきでない環境曝露もあります。私たちのようなNPOに相談しながら、曝露の可能性を一つ一つ検証し、全く該当しない際に初めて「環境」中皮腫といえると思います。	http://www.asbestos-center.jp/asbestos/ATT00046.pdf
420	環境 子供の学校に吹付け石綿(アスベスト)があり、空気中の石綿(アスベスト)濃度が10繊維/L以下なので安全だといわれました。本当にそうなのでしょか？	大気汚染防止法が、1980年代後半に石綿工場の敷地境界の濃度を当面10繊維/L以下に定めたことを基にした説明のようですが、正しくないと考えます。厚生労働省は、産業現場での石綿の管理濃度は150繊維/L、産業衛生学会もそれ以外の石綿の濃度は30繊維/Lとしています。この基準は作業現場で、18歳から10年間この石綿(アスベスト)濃度に曝露された場合に、1000人に1人が肺癌と中皮腫になる濃度とされています。環境基準は一生24時間の曝露ですから、10万人に1人と中皮腫になる濃度なのです。環境基準は100倍等の厳しい基準を求められます。大まかに考えても、産業現場の100分の1以下であれば0.3繊維/Lや1.5繊維/Lとなるわけで、10繊維/Lで安全ということはありません。詳しくお知りになりましたら、当センターのHPをごらん下さい。	http://www.asbestos-center.jp/symposium20050828/5a.html
421	環境 現在の環境中の大気にも含まれる石綿(アスベスト)濃度は、0.1～0.3繊維/Lと同じです。この濃度でも中皮腫が起こりうると思いましたが、そうなのでしょう？	石綿は中皮腫や肺がんをおこす発がん物質で、閾値はないと考えられています。厚生労働省は、産業現場での石綿の管理濃度は150繊維/L、産業衛生学会もそれ以外の石綿の濃度は30繊維/Lとしています。この基準は作業現場で、18歳から10年間1日8時間この石綿(アスベスト)濃度に曝露された場合に、1000人に1人が肺癌と中皮腫になる濃度とされています。大まかな計算ですが、仮には百万に一人が作業現場で中皮腫と肺がんになる濃度とすると、日石綿の濃度は0.15繊維/L、それ以外の石綿の濃度は0.03繊維/Lとなります。現在の環境で百万に一人の中皮腫・肺がんが、「工場周囲ではない純粋な大気」により生じていることがわかりました。詳しくお知りになりたい方は、当センターのHP、早稲田大学村山教授の論文をごらん下さい。	http://www.asbestos-center.jp/symposium20050828/5a.html

相談 番号	相談 区分	相談内容	回答	参考文献・参照HP
422	環境	大気中や建物内のアスベスト濃度を定めている国や例があれば、教えてください？	WTCの災害を受けてアスベストに関しては、以下のレベルがクリアランスの基準とされている。アスベスト:0.9f/l (文献1) 日本と比べ、厳しい規準での運用がなされている。アメリカは、更に州レベルで規制が行われている。多くの州は石棉を有害大気汚染物質(HAP)という扱いとしているが、ワシントン州では、 4×10^{-5} f/ml (4×10^{-2} f/l = 0.04f/l) という値を設けており、これはEPAのユニットリスクから生涯死亡率10-5を考慮した値だと思われる。(文献2) ドイツでは、労働環境に関する技術指針をBAUA という労働安全衛生の連邦機関(英語名は、Federal Institute for Occupational Safety and Health)が、2005年10月にTRGSというドイツ版技術指針を示しているが、519という中にアスベストに関する取り扱いを示している。石棉は一定の濃度以下なら安全とは言えないという考えにたち、あらゆる防護策を求めているが、0.5f/lを下回る場合(同文中で濃度は立米表示だが、以下でリットル表示で示す)は防護策を削減して良いとしている。以下に概要を示す。 1) TRGS900以降、大気環境に関する(石棉の)限界値はない。 2) 以下の例外を除いて、あらゆる防護策をとることが要求される。 3) 例外として、短期作業の場合(150f/l)、小規模曝露の場合(15f/l)のみ、括弧内の濃度の範囲内で、防護策を削減する余地がある。 4) アスベストが弱く固定された(飛散性)材料の除去修復作業に関して、以下の濃度を下回る場合のみ、上記の規定が適用外になりうる。IVDI 3492 sheets 2」という規定に基づいて測定された結果が0.5f/lを下回る場合(ポアソン分布に基づく95%上限値が1f/l)。(文献3, 4)	1) World Trade Center Indoor Environment Assessment : Selecting Contaminants of Potential Concern and Setting Health-Based Benchmarks : The Contaminants of Potential Concern (COPC) Committee of the World Trade Center Indoor Air Task Force Working Group : 1-57, May 2003 2) TOXICOLOGICAL PROFILE FOR ASBESTOS : U.S. DEPARTMENT OF HEALTH AND HUMAN SERVICES, Public Health Service Agency for Toxic Substances and Disease Registry (ATSDR): 197-204, September 2001 http://www.atsdr.cdc.gov/naer/site-kit/pdffiles/ToxProf441pp.pdf 3) Guidelines for the assessment and restoration of weakly bound asbestos products in buildings (asbestos guidelines, January 1996) 4) BAUA : Group 4,6 "handling chemicals, Asbestos Composition from regulations to the Inverkehrbringen and to Protection of the employees in the Federal Republic of Germany: Dortmund., 1-4, October 2005 http://www.baue.de/de/Startseite.html_nnn=true http://www.milit.go.jp/kisha/kisha06/07/071213.html
4	建材	20年前にA建設会社で家を建てました。A製品が天井と台所の壁に使われていました。天井は白という製品です。ぼろぼろと落ちてくることはありません。Aハウスの電話で聞いたところ、はつきりと答えずに困っています。	全ての建材が網羅されてはいませんが、国土交通省・経済産業省の建材データベースが一つの参考になります。それでも不確かな場合は、再度電話でご相談ください。	
96	建材	グラスウールが心配です。チクタクします。有害性はどのようなのでしょうか？	おっしゃるとおり、石棉(アスベスト)の代替製品で似た形状なので御心配も最もです。グラスウールは人工の繊維ですが、直径が石棉より太いこともあり、石棉のように肺への吸入が少ないことがあります。グラスウール工場での従業員や退職者への調査が1970年代以降行われましたが、中皮腫の発症はなく、肺がんの発症もまずない結果となりました。ただし鉱物繊維ですので、従業員にじん肺はおきていましたし、皮膚炎も知られています。仕事で大量に吸入すれば、じん肺を起す物質ですが、石綿のような低濃度短期曝露でも中皮腫ということはないようです。	
153	建材	雨漏りがするので、壁と天井からALCを剥がしました。鉄骨に被覆してあるのがむき出しのままになっています。	吹き付け石綿があるのでしょうか？写真を送っていただいで、吹き付けが疑わしいなら、設計図やサンプルで更に確認しましょう。	図解 あなたのまわりのアスベスト危険度診断 中皮腫・じん肺・アスベストセンター編 p1-P95、朝日新聞、2005 http://www.asbestos-center.jp/asbestos/byphoto/index.html
207	建材	レンジフィルターが難燃性物質なので、これはアスベストでしょうか？ インターネットで調べるとアスベストではないと強調されてるので不安です。	メーカーに問い合わせさせて材質を確認してください。ノンアスとアスベストの時期があると思いますがいかがでしょうか？ 使用しているようでしたら、また連絡してください。	
211	建材	全く触れる事のない状態なのですが、天井の板の上の断熱材にファイバークラスが使われていて不安です。この製造元はもう倒産して存在していません。	グラス繊維を扱う職業の方には、じん肺、肺がんの可能性もあります。しかし天井の上で皆さんが吸入する状態ではないので、ご心配する必要はありません。	

相談番号	相談内容	回答	参考文献・参照HP
222	家の化粧石綿屋根の塗装が剥がれてきました。高圧洗浄で磨いて塗装をし直すのですが、石綿の飛散も心配です。高圧洗浄の危険性とその他の方法について教えてください。	住宅に使用されている住宅屋根用化粧スレートは石綿含有のスレート板に塗装を施しているものが多く、数年の使用で表面が劣化して塗装面が剥がれてきます。耐用年数を延ばすためには塗り替えにより新たな塗装面で材料を保護する必要があります。しかし、化粧スレートの塗り替え時には古い塗料を剥がさなければ、新しい塗装をきれいに仕上げる事ができません。このときに強い水流を当てて塗料を剥がし落とす高圧洗浄装置が使用されます。高圧洗浄装置で化粧スレートを洗浄すると瞬間に表面の汚れと塗料を削り取ることができ、同時に石綿を含むスレートも削れています。そのときの空中濃度は最高で1リットルあたり150本を超えていることが確認されています。高圧洗浄している時は石綿の粉じんは霧状の水と一緒に飛散していますが、それが空気で乾燥したり、どこかに付着して乾燥したりすると石綿粉じんが飛散することになります。高圧洗浄を行わないことをお勧めします。替わりの方法はスレート屋根を剥がして石綿を含有しない他の屋根に葺き替えるか、また屋根を削がずに上に金属性の屋根を葺く方法、また最近では高圧洗浄せずに厚い塗装を施して、材料の強化と飛散防止をする工法があります。	1) 産衛誌 48巻・2006、屋根用化粧スレートの高圧洗浄時の空中石綿濃度について
261	アスベストが社会問題となっていますが、我が家はA社の製品を屋根に使っています。これにはアスベストが混入されているといわれますが、その安全性が心配です。見た目では塗りこめられた感じで毛羽立ったようなところはないので、飛び散ることはないような気がしますが、安全かどうかを確認したいと思います。よろしくお願ひします。メーカーへ直接聞いてもおそろしく安全だといわれると思います、そちらへお伺ひする予定です。	〇〇ベストなどの住宅屋根の化粧スレートをご使用を思われます。硬いスレート板で表面は塗装されているので飛散しないように思いますが、長年風雨にさらされると塗装面が剥がれ、徐々にスレートが露出してきます。重量と厚みは確実に減少しているため、それに伴い石綿が飛散している可能性は否定できないと思われれます。飛散はしているにもかかわらず、測定しても石綿は見つからず、またそれによる健康被害も現れていないので、メーカーなどは安全と言っているのだと思われれます。現在でもスレート板の上に金属屋根をかぶせるように葺く対策工事や塗装でコーティングする対策工事などが開発されています。	図解 あなたのまわりのアスベスト危険度診断 中皮腫・じん肺・アスベストセンター編 p1-P95、朝日新聞、2005 http://www.asbestos-center.jp/asbestos/byphoto/index.html
264	私が働いている職場にある建物にはアスベストが使われているものがあるのかどうかあるのですが、このような職場で働いていてもやはり中皮腫になる可能性は高いのでしょうか？	吹き付け石綿と、ボード等の石綿含有建材では飛散性が異なり、石綿含有建材ではまず心配ないと思います。吹き付け石綿は徐々に飛散し、建物での滞在時間が長い場合は、中皮腫や胸膜肥厚斑のような低濃度曝露で発症する疾患になる可能性はありと考えられます。	図解 あなたのまわりのアスベスト危険度診断 中皮腫・じん肺・アスベストセンター編 p1-P95、朝日新聞、2005
265	私は子供の頃から石綿スレートの屋根でできた家に住んでいました。よく子供たちのころ屋根の上で寝転がって見たり布団もこの屋根の上で遊んだのが大丈夫でしょうか？現在30代になりましたが屋根の上で遊んだのは小学校のとき2ヶ月に一回くらいで、寝転んだのは全部で10回くらいでしょうか。布団の方は屋根の建材が付着していた記憶はありません。	10回ならまず問題ないと思います。スレートや石綿屋根に布団を頻回干したたら健康影響はどうなるのか？ 今後の測定等を考えていきたいと思ひます。	
267	会社は小売しているのですが、お店のあるビルにアスベストが使用されているらしいです。どうやって検査をすれば良いのでしょうか？ 検査の方法などを教えてください。	1)何年に建てられた建物か年代を確認します。2)建物の図面を見ます。3)気になる部分の写真をとって、メールで相談します。以上の3点を行って、再度相談して下さい。	図解 あなたのまわりのアスベスト危険度診断 中皮腫・じん肺・アスベストセンター編 p1-P95、朝日新聞、2005
369	私の自宅(マンション)を購入し、一部の部屋に防音工事をしました。メーカーに確認し施工業者より回答があり、この建材はノン・アスベストとのことでした。但し建材を削ったり切ったりして粉塵を吸い込むと呼吸器系に発病することもあるとの説明を受けました。施工業者の説明を信することしかできませんが、第2のアスベストになりうる危険はほんのりしているような気が致します。今は、アスベストのみが話題になっているようですが、将来これに類する建材も問題になるのでしょうか。	無石綿の場合は、今後の問題はほとんどない代替物質が使用されています。「呼吸器に問題があると記載がある」のは、この建材を大量に切断する建築業者が、中皮腫以外の「じん肺」になる可能性があるからです。消費者には、御安心して頂いて良い建材かと思ひます。	国土交通省・経済産業省 建材データベース http://www.mit.go.jp/kisha/kisha06/07/071213_.html

相談番号	相談内容	回答	参考文献・参照HP
371	建材 私は学生でアパートで一人暮らしをしています。以前コンセントの調子が悪く、ネジを外し壁の内部分まで外した事がありました。その時、白い粉上の粉末状のものや、石みたいなの、また白に黄色がかかった綿みたいなのがありました。 私はアスベストを吸ってしまった可能性が高いのであるかという事です。コンセントと壁の間の部分にも使うものなんでしょうか？もし吸っていたとしたら、病院に行くなど何かしらの対策を早めるべきでしょうか？	コンセント周囲の壁材は、多くは石綿非含有の石膏ボードだと思いますが、石綿含有のボードもあります。しかし1日の曝露ですから、石綿関連疾患の発症はまずゼロで、現時点での診察は不要です。	国土交通省・経済産業省 建材データベース http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha06/07/071213_html
5	建材 確認 1980年代に建造した築20年の自宅ですが、壁の中や天井裏にアスベストらしい断熱材が使用されているようで心配です。飛散することはないのでしょうか？	おそろくグラスファイバーの場合が多いと思います。石綿でない場合が多いので、一度写真をとって見て、アスベスト製品の写真と見比べてください。天井裏に関しては、リフォームしたり地震の場合がない限り、飛散することはありません。	
6	建材 確認 自宅に、綿状の壁があります。日本家屋で土壁の中に綿の様な繊維がつけ加えているようですが、アスベストなのか心配です。	日本家屋では、アスベスト入りの壁は極めて希です。また飛散しやすい状態ではありませんので安心してください。	
21	建材 確認 個人住宅(鉄筋一戸建て)で1980年代前半、塗り壁の中にアスベストを混合した左官と大工さんから教えてもらいました。畳の部屋に壁があるのでそこらしいです。「赤土+アスベスト」の壁でポロポロした感じがあります。	防蟻等で民家にアスベストを使用した家が北海道を含め複数報告があります。今後、経験の長い石綿除去業者さんに相談してください。防腐剤+上塗りでの対処できると思います。今後国による詳しい調査が待たれます。	
28	建材 確認 1981年の建てものですが、倉庫にアスベストがロックウールの吹付けがありました。アスベストが入っているのかどうか知りたいたいと思っています。店の天井裏にあります。	まず、アスベスト含有かどうか、HPでご覧ください。書籍「身近のアスベスト危険度診断(朝日新聞)」をご購入頂くのも参考になります。写真と比べてから、再度ご相談ください。分析が必要な場合かもしれません。	図解 あなたのまわりのアスベスト危険度診断 中皮腫・じん肺・アスベストセンター編 p1-P95、朝日新聞、2005 http://www.asbestos-center.jp/asbestos/byphoto/index.html
35	建材 確認 壁材が石綿の建物に住んでいます。10数年前に胃ガン、その後肝臓ガンにもなり寝たきりの状態です。心配です。	ご病気があり本当に大変ですね。石綿と関連するのは肺癌や中皮腫で、胃ガンや肝臓癌は石綿とは関係がないとされています。今回のご病気には石綿は関係してはいないと思います。お住いの石綿建材では、ボード類は飛散は少ないので切断しなかれは大丈夫です。ひる石の天井にはご注意ください。	
39	建材 確認 築40年の自宅アスベストがあるのか心配です。屋根は日本瓦で土壁と木です。今年リフォームして天井をアスベストフリーにしました。唯一、台所の天井に丸い穴が開いている岩綿吸音板が使用されていますが、ぼろぼろにはなっていないと思います。両親が2人共肺癌で他界しました。私の健康は大丈夫でしょうか？	吹き付け石綿のある建物ではないようですので、建物からの健康面での心配は不要かと思えます。ご両親が癌で亡くなられて、本当に大変でしたね。	図解 あなたのまわりのアスベスト危険度診断 中皮腫・じん肺・アスベストセンター編 p1-P95、朝日新聞、2005 http://www.asbestos-center.jp/asbestos/byphoto/index.html
40	建材 確認 20年くらい前、1970年代建造の小学校の天井、廊下の階段に、白い吹付けアスベストのようなものがありました。友達とちぎってタンゴにつくって遊んだり、天井をついたりしたものです。小学校のあいだでこういう遊びは4-5回は友達としました。1時間×4-5回/月×3年間。10人で遊んでいました。アスベストであつたのかどうか、情報公開請求を用いて調査したいと思っています。	石綿でなく岩綿もありますので、まず資料での確認や、分析での確認をお勧めします。石綿非含有なら、今後の中皮腫はまず関係ない事になります。仮に10%以上の石綿含有等ですと、1時間と短時間ですが、10繊維/ml程度の高濃度曝露もありうる行為だと思えます。確認しながら、今後のリスクの相談をさせて頂きたいと思えます。	
41	建材 確認 S40年建築の壁で、ふかふかした白っぽい模様があります。石綿でしょうか？	石綿の疑いもあります。アスベストセンターの本をご参考にして頂き、必要なら石綿分析の機関を紹介いたします。	図解 あなたのまわりのアスベスト危険度診断 中皮腫・じん肺・アスベストセンター編 p1-P95、朝日新聞、2005
43	建材 確認 S50年以降に増築した民家です。北側に綿黄色の断熱材を入れました。	おそろくグラスファイバーの場合が多いと思います。アスベストではない場合が多いので、一度写真をとって見て、アスベスト製品の写真と見比べてください。	図解 あなたのまわりのアスベスト危険度診断 中皮腫・じん肺・アスベストセンター編 p1-P95、朝日新聞、2005

相談番号	相談内容	回答	参考文献・参照HP
75	建材確認 5～6年前に天井板を替えました。今回のものはA社の製品でノンアスベストですが、以前のものはアスベスト含有でしたので、それからから曝露はあったでしょうか？	アスベスト含有建材であり、ごく短期間の作業のようですから、心配ないと思います。	実践!! 建設業のためのアスベスト対策―被曝者にも加害者にもならないために―、中皮腫・じん肺・アスベストセンター編、p11～115、建通新聞社、2007.1
82	建材確認 住宅に断熱材が使われています。前の所有者が大量に入手したようです。現状は、掘二たつの内側に露出していて、かつ、物置に撒いた状態で保管しています。販売と施工の工務店に連絡して材質を尋ねてみます。	材質を確認していただき、再度ご相談ください。	
85	建材確認 S50年代後半家の押入れ、階段、壁の板に綿状のものが挟まれています。現在まで改築したことはありません。アルミフィオイル状のもので綿状のものがつんであります。これらはアスベストでしょうか？	お話では、グラスファイバーと思います。わざわざ板をはがして触れることはせず密閉しておいてください。今後、解体などがあればその際にご注意ください。	
86	建材確認 築20年以上の家ですが、部分的に天井裏に保温材が使われています。現在まで改築はありません。隔離状態なので日ごろ触れることはありません。	お話では、グラスファイバーと思います。わざわざ板をはがして触れることはせず密閉しておいてください。今後、解体などがあればその際にご注意ください。	
89	建材確認 家の隣の古い銀行が解体新築予定で、アスベストの飛散が不安です。工事の内容は知りません。	アスベスト含有建材のある工事できちんと囲げ出があるならば、自治体か所轄労働基準局が工事を把握しているはずですが、電話してまず確認してみてください。もし肉眼的に吹き付け石綿等があり、届き出しの工事の可能性が高い場合は監督署と連絡して指導を要請する必要があります。問題がある場合はご相談ください。	厚生労働省HP http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/sekimen/hourai/index.html
92	建材確認 建物の壁や健康志向で各メーカー製品化している珪藻土、それらの製品の中にアスベストが使われているものが心配です。住宅の中で飛散して体に影響が出るのでしょうか？	昔の珪藻土保温材には石綿を混合していました。但し珪藻土保温材の使用はボイラー室周囲の配管等で、民間家屋の室内での使用は稀です。最近新規に使用している珪藻土では、石綿含有は考えにくいと思います。	
99	建材確認 1950年代築のマンションの水道管工事に伴うことなのですが、屋根裏にアスベストの吹付けが使われている可能性はあるでしょうか？	日本の吹き付け石綿は1955年からの使用で、1960年代のビルでの使用は稀ですがないとは言えません。設計図面や実際に見てみて確認してください。	
100	建材確認 4年間使用した密室型風呂場の出入り口以外全ての全方位に石綿板が使用されています。中古住宅ですが、今は取り壊されて撤去済みです。資料が欲しいです。	表面はペンキ塗装してあり、且つ常に湿った状態(カビあり)だったので、入浴時のホコリはさほどではないでしょう。石綿含有建材は加工や、取り付け、取外しを行った際に問題で、ここにあるだけなら飛散はほとんどありません。	
101	建材確認 建築業者ですが、「Aファイバー」の中にはアスベストが入っていますか？（セルロースファイバー吹込み）断熱材、吸音にも、古新聞、木材、リグニンなど利用しました。現場で吹き込みをします。	どの製品にアスベストが入っているかどうかは、企業の情報提供が少なく問題でした。時々以降、情報提供する企業も増加し、経済産業省や国土交通省の建材DBが現状では内容が多い一つです。すべてを網羅していない部分もありますので、その点にはご注意ください。	国土交通省・経済産業省 建材データベース http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha06/07/071213_html
103	建材確認 下地調整剤の九州限定販売のA社のボンドにアスベストが入っていますか？マンションの壁のビニールクロスがはがれて、白い粉が落ちてきます。メーカーに問い合わせても返事がありません。	どの製品にアスベストが入っているかどうかは、企業の情報提供が少なく問題でした。時々以降、情報提供する企業も増加し、経済産業省や国土交通省の建材DBが現状では内容が多い一つです。すべてを網羅していない部分もありますので、その点にはご注意ください。	国土交通省・経済産業省 建材データベース http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha06/07/071213_html
106	建材確認 築30年のマンションなんですが、管理人より10平方mの変電室内にアスベストらしい紙くず、パルプ状のものがあると聞きました。	図面があるという点などで見てください。アスベストであれば再度御連絡ください。	図解 あなたのまわりのアスベスト危険度診断 中皮腫・じん肺・アスベストセンター編 p1-P95、朝日新聞、2005 http://www.asbestos-center.jp/asbestos/byphoto/index.html

相談番号	相談区分	相談内容	回答	参考文献・参照HP
108	建材確認	物置にアスベストらしいものがあります。どのように処分したらよいでしょうか？また、物置の中はアスベストが散々になっていますが、他のものは使用不可でしょうか？ 写真を同封します。	写真を原形、グラスウールのように見えます。グラスウールの断熱材は、アスベストを含んでいないと思われ、ポリ袋等に入れて廃棄してください。粉じんはアスベストではないと思われ、濡れ雑巾でふき取って、粉が舞い上がらないようにしてください。一般の粉じんも、吸引しないほうが良いです。	図解 あなたのまわりのアスベスト危険度診断 中皮腫・じん肺・アスベストセンター編 p1-P95、朝日新聞、2005 http://www.asbestos-center.jp/asbestos/byphoto/index.html
132	建材確認	台所の天井ですが、ガスの上が防火材です。表面がザラザラしていますが、アスベストが不安で掃除できません。	まず、アスベスト含有かどうか、HPでご覧ください。書籍「身近のアスベスト危険度診断(朝日新聞)」をご購入頂くのも参考になります。写真と比べてから、再度ご相談ください。分析が必要な場合もありません。	図解 あなたのまわりのアスベスト危険度診断 中皮腫・じん肺・アスベストセンター編 p1-P95、朝日新聞、2005 http://www.asbestos-center.jp/asbestos/byphoto/index.html
133	建材確認	築5年前の団地で吹付けのところで仕事をしました。あたらしい吹付けはアスベストですか？ マスクをしていれば大丈夫ですか？	吹付けはロックウールの可能性が高いと思います。マスクをつけていても絶対に大丈夫とは限りません。気をつけてください。	
143	建材確認	市分譲の住宅に1年前に入居しました。台所の天井板が気になります。触ると白い粉のようになりますが、塗料でしょうか、それともアスベストなんでしょうか？	特に問題はないと思います。ホームページをご覧になってください。	図解 あなたのまわりのアスベスト危険度診断 中皮腫・じん肺・アスベストセンター編 p1-P95、朝日新聞、2005 http://www.asbestos-center.jp/asbestos/byphoto/index.html
150	建材確認	S60年の鉄骨住宅でA社で自宅です。工事概要書でフレキシブル板があります。外はALCですが、心配ないでしょうか？	通常使用では問題はありません。改築、解体時は注意してください。	
159	建材確認	1980年の建物ですが、各部屋の天井に90cm巾のグルグルまいたもので、色は黄色で、紙状のものがあります。	黄色いのはガラス繊維で、そのまま大丈夫です。	図解 あなたのまわりのアスベスト危険度診断 中皮腫・じん肺・アスベストセンター編 p1-P95、朝日新聞、2005
161	建材確認	実家の内壁に、ガラスのキラキラしたものと綿のようなものを塗り固めているところがあるのですが、アスベストでしょうか？	アスベストではないと思いますが、念のため、写真を送ってください。	
163	建材確認	モルタルの表面、廊下や天井に2〜3cmの綿織壁と呼ばれるものが吹付けられています。アスベストでしょうか？	写真をおとり頂き、書籍やホームページで製品をご覧下さい。疑わしい場合は、分析も必要ですのでご相談ください。	図解 あなたのまわりのアスベスト危険度診断 中皮腫・じん肺・アスベストセンター編 p1-P95、朝日新聞、2005 http://www.asbestos-center.jp/asbestos/byphoto/index.html
165	建材確認	木造1階建ての建物に1人で住んでいます。内壁の間に断熱材が使用されています。破損はありません。	密封して居住空間とは遮断されているので、日常生活には問題はありません。改修のときには業者と相談して安全対策をしてください。	
181	建材確認	天井の一部はがれているので心配です。業者は大丈夫と言っていましたが見ただけで何が大丈夫といえるのでしょうか？ 以前にアスベスト除去したことは知っていますが、きちんと確認したいです。	自治体の営繕課へ問い合わせ、図面などで確認してもらってください。何か不明な点があれば再度お電話ください。	
182	建材確認	砂壁にアスベストがあるか不安です。古いのでかなり崩れています。	砂壁様吹き付けには、稀に石綿含有場合があります。環境測定機関に電話して相談してみてください。	東京労働安全衛生センター—石綿分析 http://www.metoshc.org/010.asbestos.html
183	建材確認	体育館程度の古い二フトリ舎(鉄骨 25年位)が5〜6棟あります。黄色いものがプラ下になっているのを取外しました。まだ沢山あります。よくホコリがたつたので心配です。	成分は不明なので、材質を問い合わせてください。通常黄色の石綿はなく、グラスファイバーの可能性が高いと思います。	
187	建材確認	雨漏りのため天井の化粧紙を畳2枚分程外しました。内側が何か紙状でフワフワしています。修復の為正体を知りたいのですが、検査する気がありません。	とりあえず、表面を何かでカバーしてむやみに触れないように。当面は修復はしないので、検査するかどうか検討してください。	

相談番号	相談内容	回答	参考文献・参照HP
188	マンションのリビングの床下の断熱材が板の隙間から見える状態です。ホコリも出ます。図面でアスベストを確認しました。現実の状況と異なるので業者に聞いたのですが、違法工事でしょうか？アスベストのメーカーや建築関係者は一般的な施工とは言えないとしています。サンブルは容易に取れます。今後はマンションの組合にも報告します。場合によっては健康不安理由で除去も考えています。	どりあえず、図面をもとに施工業者に問うてみて、その後市役所に建築時の申請書類等を尋ねてください。同時に、図面のコピーを送付していただければ相談に応じます。	
191	①かつて学校の天井のアスベスト状のものを突っついて遊んでいたことがあります。②今の学校は大丈夫ですか？	①2～3回程度なので心配無用です。②対策をすんだ自治体ですので今の学校は大丈夫だと思います。自治体のホームページをご覧ください。	
195	天井裏の綿状のもの正体はなんでしょうか？	現状では全く密閉されているのであえて正体を調べずとも構いません。将来、解体、改築の計画があれば分析することも可能です。	東京労働安全衛生センター—石綿分析 http://www.metoshc.org/010_asbestos.html
200	天井の断熱材がアスベストであると大工さんが言うので不安です。	完全に覆ってあるので今は心配無用です。今後の解体、改築の時に注意してください。	
202	新築1ヶ月の自宅の内壁、天井の断熱材なんですが、作業員がチクタクすると言っていました。	写真ではグラスウールと思われるので安心してください。	
210	建材 屋外の駐車場のプラスチック製の屋根の表面に何か繊維状のものがあります。アスベストでしょうか？	面積が5平方m位で飛散しにくい状態なので心配は要りません。家の他の部分も同様にチェックしてみてください。	
215	建材 市の再開発に際して、高層駐車場を解体します。アスベストはあるでしょうか？あれば、住民としてはどうすればいいでしょうか？	駐車場の建造時期、種類等で石綿含有かどうかが異なります。市へ成分分析の結果を問い合わせ、結果の複写をもらってください。中途半端な回答でしたら今後、連絡ください。	
227	建材 子供が幼稚園に入園する予定ですが、校舎の内側にアスベストらしいものが使われているようです。不安なので手紙を送りましたが、判明するでしょうか？	公立ならば役所の図面でアスベストの有無を確認できますが、私立なので幼稚園に問うのがもっとも確実です。写真では判定できません。	図解 あなたのまわりのアスベスト危険度診断 中皮腫・じん肺・アスベストセンター編 p1-P95、朝日新聞、2005
231	建材 中古住宅を購入しましたが、建築確認の書面にアスベストの表記があります。外壁に「石綿セメント板」、台所に「石綿不燃材4mm」。販売施工業者の住宅相談センターへ問い合わせたら、「有害なアスベストは使っていない」「石綿は使用しているがアスベストは使用していない」「吹付けアスベストは使用していない」との回答でした。とにかく、顧客ではあるがこの件については質問して欲しくないという感じが伝わってきました。	木造の住宅だと、ガラス繊維の断熱材を使用している場合が多く、吹き付けアスベストはほとんど使用していません。アスベストと石綿は同じですから、販売業者の方は勉強不足のようです。2004年頃まで、アスベスト入りの外壁材や、台所の天井材に石綿が使われていました。石綿含有建材は屋根材以外は、加工しなければ飛散しないものが多いので、加工時の注意が重要ですが、あるからといって健康への影響は通常ありません。	
234	建材 1970年代に建てた住宅ですが、間取り図等詳細が書かれていません。気になるのは和室2間ですが、黄土色のサザン材がはがれてきて、現在は白っぽい粉をふいたようになっています。石綿(アスベスト)の可能性は、あるのでしょうか？	約30年前で、この頃の材料にはアスベストが入っていてもおかしくありません。ご質問の壁は京壁と言います。黄土色の壁も黄土色の壁も在ります。京都地方で取れた泥の一種を壁に塗った物です。白っぽい粉は壁の下地に塗ったプラスチックで、その上に京壁を塗りまします。通常は石綿(アスベスト)はありません。しかし類似の製品で綿に「京壁風」で石綿含有の製品がありますので、心配でしたら分析することになります。ただその製品の場合でもこすったり削ったりしなれば大丈夫だと思います。	図解 あなたのまわりのアスベスト危険度診断 中皮腫・じん肺・アスベストセンター編 p1-P95、朝日新聞、2005 http://www.asbestos-center.jp/asbestos/byphoto/index.html
235	建材 S55年頃、中古物件を購入し居住しておりますが、新築はS50年頃の二戸建て2階であります。同物件の写真は玄関の真上の写真2枚です。屋根は石綿化植スレートでその裏がこのような建材です。「石綿」かどうか見てください。	木毛板と言う建材です。詳しくは、書籍やHPをご参考ください。	図解 あなたのまわりのアスベスト危険度診断 中皮腫・じん肺・アスベストセンター編 p1-P95、朝日新聞、2005 http://www.asbestos-center.jp/asbestos/byphoto/index.html